

# グランベーン管弦楽団 第7回 定期演奏会

Program

- ◆ ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン  
フィデリオ序曲
- ◆ ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン  
交響曲第6番「田園」
- ◆ ヨハネス・ブラームス  
ヴァイオリン協奏曲



指揮・音楽監督  
星野 聡



ヴァイオリン独奏  
戸田 弥生

2024年

4月 27日 [土]

開場 13:30

開演 14:00

小金井 宮地楽器ホール 大ホール

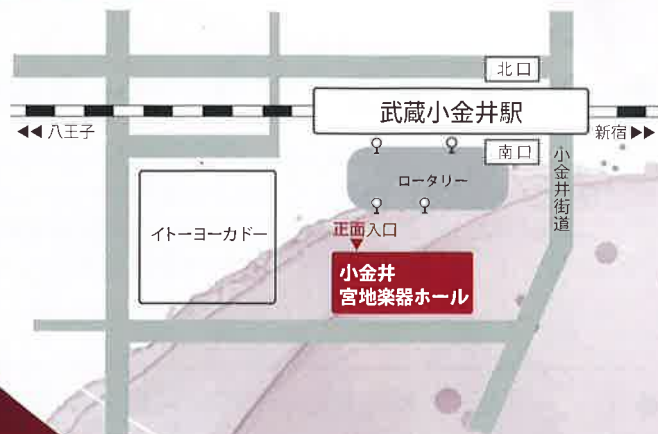
チケット料金

全席自由 1,500円【税込】

交通アクセス

JR中央線 武蔵小金井駅  
南口駅前

※ 当館には駐車場がありません。  
公共交通機関でお越しいただくか、  
近隣の有料駐車場をご利用ください。



# 出演者紹介

## 指揮・音楽監督／星野 聡

*Satoshi Hoshino*

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。在学中より声楽の伴奏を中心に演奏活動をする。卒業後、声楽に転向。二期会オペラスタジオ、東京芸術大学声楽科に学び、東京芸術大学大学院オペラ科を修了。

1992年「ドン・ジョバンニ」のタイトルロールでオペラデビュー。その後「ラ・ボエーム」「トスカ」「トゥーランドット」「アイダ」「カルメン」「道化師」「ペレアスとメリザンド」「蝶々夫人」「こうもり」ほか、数多くのオペラや演奏会のソリストとして出演し好評を博している。また芸大在学中に合唱団の指導に携わったのを機に指揮者としての研鑽を積み、以来混声合唱団や女声コーラス等の指揮者として活動の場を広げ、その音楽性や指導力の評価も高い。近年では、「グランベネ歌劇団」を主宰し、地域の文化発展や若手演奏家の育成にも尽力している。

指揮者としてこれまでにオペラ「ラ・ボエーム」「トスカ」「蝶々夫人」(プッチーニ)、「カルメン」(ビゼー)、「アンドレア・シェニエ」(ジョルダノ)、「フィガロの結婚」(コシ・ファン・トゥッテ)、「ドン・ジョバンニ」(モーツァルト)等、合唱曲ではヴェルディ「レクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ブラームス「ドイツレクイエム」、モーツァルト「レクイエム」、デュリュフレ「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」等を演奏。声楽を故平野忠彦氏、ピアノを故岡田隆郎氏、指揮法を小林資典氏に師事。二期会会員。日本演奏連盟会員。フェリス女学院大学教授。

## ヴァイオリン独奏／戸田 弥生

*Yayoi Toda*

4歳からヴァイオリンを始める。1985年第54回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業し、1992年アムステルダム・スウェーデン音楽院に留学。これまでに、江藤俊哉、ヘルマン・クレバース、シャルル・アンドレ・リナル、ドロシー・ディレイの各氏ほかに師事。

1993年エリーザベト王妃国際音楽コンクールに優勝して一躍注目を集め、本格的な活動を開始する。1994年、第4回出光音楽賞を受賞。1996年にはニューヨークのジュリアード音楽院から“ディレイ・スカラシップ”を受け、1年間在籍。1997年にニューヨーク・デビューを果たし絶賛を博す。また、オランダの作曲家トリスタン・コイリス(1946～1996)から「ヴァイオリン協奏曲第2番」(1995)を献呈され、アムステルダム・コンサートヘボウで初演した。1999年にカーネギー・リサイタル・ホールで室内楽を中心としたリサイタル「Yayoi and friends」を開催した。2009年にはアジアにも活動の場を広げ、上海で室内楽や武漢交響楽団との共演、韓国でジェジュ音楽祭に出演した。2010年は4月にオランダとスペインでのヴァイオリン・マスタークラスを、11月にピアノのヴァレリー・アフアナシェフとのデュオを東京および福井で行なった。デビュー20周年を迎えた2013年には、東京、大阪、神戸、福井にて、協奏曲、デュオ、無伴奏等多くの舞台で好評を博した。2017年国際音楽祭 NIPPON では諏訪内晶子とともにコンサート、マスタークラスに参加、18年びわ湖クラシック音楽祭では沼尻竜典とのデュオが好評を博した。2019年8月にはフェリス女学院大学名誉教授宮本とも子氏とボストン他郊外の主要な教会で名器 C.B.Fisk オルガンとの共演を果たした。

日本の数多くのオーケストラはもとより、ニューヨーク・チェンバー・オーケストラ、モスクワ・フィルハーモニー、プラハ・チェンバー・オーケストラ、ハーグ・レジデンティ管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団、ボン・ベートーヴェン・ハレ管弦楽団、北オランダ・フィルハーモニー、セント・マーティン・アカデミー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー、ベルガモ室内オーケストラ、ドイツ・カンマー・フィルハーモニーなどに出演し、また、小澤征爾、ユーリー・シモノフ、シュロモ・ミンツ、ジャン・ジャック・カントロフ、アレキサンダー・シュナイダー、スタニスラフ・ブーニン、ジャン・フルネ、ガリー・ベルティエニ、マルタ・アルゲリッチ、フランク・ブラレイ、アブデル・ラーマン・エル＝バシャ、ジェラルド・コセラとも共演している。

CDは「J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲」「20世紀無伴奏ヴァイオリン作品集」などの無伴奏作品の他、珠玉の小品集「子供の夢」をリリースしている。最新盤はエル＝バシャとの「フランク：ヴァイオリン・ソナタ、シューマン：ヴァイオリン・ソナタ第2番」。

国内外のコンクール審査員としても招かれ、2005年にはエリーザベト王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門審査員を務めた。現在フェリス女学院大学音楽学部演奏学科教授、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。使用楽器はシャコンヌ(カノン)所有のガールネリ・デル・ジェス(1728年製作)。

オフィシャルホームページ <https://yayoi-toda.com/>

## オーケストラ演奏／グランベネ管弦楽団

*Granbene orchestra*

2007年1月、フェリス女学院大学音楽学部の授業「オペラ研究」の学内演奏会のために、キャンパス所在地にちなみ「山手管弦楽団」として結成された。以降、毎年モーツァルトのオペラやミュージカルなどを演奏し好評を博している。またグランベネ歌劇団第4回公演「フィガロの結婚」よりオペラ公演に参加する他、合唱団の定期演奏会などでも演奏している。

2018年7月、「一般社団法人グランベネ管弦楽団」として一般社団法人化。

◆ 主 催 | 一般社団法人グランベネ管弦楽団

◆ お問い合わせ | 事務局【[info@granbene.or.jp](mailto:info@granbene.or.jp)】